

施政方針演述要旨

令和6年大槌町議会3月定例会において、平野公三町長がまちづくりの指針となる本年度の施政方針を述べました。その要旨をお伝えします。

地方創生の推進

第9次大槌町総合計画では、人口減少や少子化の進展などの課題に対応しながら、人とのつながりを大切にした誰もが安心して暮らせるまちを目指し、活力ある地場産業の創出や時代の変化に対応した交流人口の拡大など、地方創生に向けた魅力あるまちづくりを推進してまいりました。

第9次大槌町総合計画は、令和5年度で「前期基本計画」5年間の計画期間を終了することから、令和6年度から令和10年度までの向こう5年間を期間とする「後期基本計画」の策定を進めてまいりました。

「後期基本計画」は、「前期基本計画」

に掲げた「基本方針」と「基本施策」を引き継ぎ、さらに社会情勢の変化や、国が進める「デジタル田園都市国家構想」を鑑み、「国土強靱化地域計画」と「地方版総合戦略」を統合した、一体的な構成に仕上げております。

総合計画に掲げる施策を着実に推進し、基本理念である「魅力ある人を育て 新しい価値を創造し続けるまち大槌」の実現に向け、町民と行政の協働のもと取り組んでまいります。

組織体制

事務を重層的に管理し、チェック体制を強化するため、令和6年度から「課長補佐・係長制度」に組織改編を行います。

子育てに係る支援体制は、妊娠から出産、子育て期にかけて、切れ目のない支援を行うため、「こども家庭センター」を設置いたします。「こども家庭センター」の設置に伴い、健康福祉課を2課に再編し「長寿社会課」を新設し、施策の実施体制を強化してまいります。

当初予算編成

令和6年度予算は、第9次大槌町総合計画に掲げる施策を着実に推し進めつつ、持続可能な財政基盤の確立を念頭に置いた予算編成としております。

令和6年度一般会計当初予算額は総額10億7百万円を計上し、対前年度比で5・33%の減となっております。特別会計当初予算は、対前

年度比で、特別会計全体は5・15%減の30億1千248万5千円を計上しております。

行財政の効率化を図りながらも、重要な施策の選択肢を狭めることのないよう、成果につながる効果的・効率的な財政運営を徹底してまいります。

ふるさと納税

令和5年度に寄せられた「ふるさと納税寄付額」は、2月20日時点で9億円を超しており、昨年度の寄付額の2倍以上となっております。令和6年度も町内事業者と連携し、町の魅力発信につながる特色のある返礼品の開発に取り組むとともに、財源の確保を図ってまいります。

むすびこ

本年度は、令和6年度から令和10年度まで、5年間のまちづくりの骨格となる「第9次大槌町総合計画後期基本計画」の策定を進めてまい

りました。

策定にあたりましては、住民説明会やパブリックコメントを実施し、町民の皆様より多くの声を頂戴しました。皆様からのご意見・ご提言につきましては、具体的な事業実施の際に反映させてまいります。

これから進める「後期基本計画」を着実且つ計画的に実行するためには、町民の皆様、各種団体や関係者と現場で向き合い、対話しながら、現状をしっかりと受け止め、きめ細やかに対応することが肝要であります。

町民並びに議員の皆様におかれましても、誰もが「この町に住みたい、住み続けたい」と思える「魅力的」で「安全安心」なまちの実現のため、ふるさと大槌町への「愛着と誇り」を持ち、「次世代に継ぐ明るいまちづくり」に共に取り組んでまいります。

産業・観光

地場産業の拡大▶「岩手ジビエ大槌鹿」「岩手大槌サーモン」の支援継続▶特定地域づくり事業協同組合「おおつち百年之業協同組合」による通年雇用と複業化▶森林認証や藻場再生活動による環境保全と資源管理▶地域資源の価値や魅力を活かした海業振興

商工業の推進▶「岩手大槌サーモン」「大槌産牡蠣」を使った、新たな大槌ブランドの開発支援

観光物産の拡大▶食と海を活かした体験ツーリズムの充実▶アニメの活用▶郷土芸能による観光施策の継続

安全・快適

災害に強いまちづくりの推進▶大ケ口地区避難施設の整備▶小槌地区と金沢地区消防屯所の整備

自然環境の保全▶社会経済の安定も視野に入れた、包括的な環境活動

快適な住環境・有害鳥獣対策▶捕獲体制の強化、緩衝帯の整備

新たな交通ネットワーク▶乗合タクシーの実証運行の継続▶町民アンケート結果を踏まえた町民バスのダイヤ改正▶三陸鉄道への新たな運行支援

教育・文化

大槌町教育大綱の改訂

生涯を通してつながる学びの推進▶「けやき共育事業」による誰一人取り残さない学びの保障▶物価高騰分の給食費の町負担

地域へと広がる魅力的な学びの場づくり

▶大槌高校魅力化推進事業

町民の学習活動の推進▶文化財保存活用地域計画の作成着手▶(仮称)みんなの広場の方針決定

学ぶ環境の整備▶大槌学園教室へのエアコン設置

震災伝承▶(仮称)鎮魂の森整備

将来を見据えた持続可能なまちづくり

協働による地域・まちづくりの推進▶行政と地域とのつなぎ役となる支援員の配置

移住・定住の促進▶地域おこし協力隊の連携事業者を拡大▶地域の活性化とまちづくり人材の定住

空き地・空き家対策▶「空き地空き家情報バンク」によるマッチングサポート

行政手続きのデジタル化▶自治体DXの推進▶業務の効率化と町民の利便性向上

健康・福祉

こども家庭センターの設置▶子どもや保護者に寄り添った「児童福祉」「母子保健」の一体的支援

健康づくりの推進▶各種がん検診の自己負担を無料化

障がい福祉の推進▶サポートを受けながら共同生活を行うグループホーム設置の早期実現に向けた取り組み